

学校訪問シリーズ 93

大分市立鶴崎小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

今年度150周年を迎えた本校の教育目標「ふるさとを愛し、夢に向かって共に学ぶ、鶴崎っ子の育成」を達成するため、生活指導部、研修部、体育部がそれぞれ取組指標を定め、毎月実施する児童の生活アンケート等の客観的データをもとに達成状況と要因分析を行い、翌月の取組を進化させています。

このように、短期(月1回)のPDCAサイクルを回すことで課題がより焦点化するため、友達の良さを見つけて紹介する「ほかほかハート月間(児童会)」や「挨拶運動(生活委員会)」、体育では自己目標を設定し達成感を感じさせる「がんばりカードなど」課題に応じた実践が行われ、成果として表れています。



授業から学ぶ

本校は令和2年度から3年間「大分市基礎学力向上研究指定校」として、算数の授業において、主に「数学的な見方・考え方を働かせるための教師の出番」について研究を行っています。そのため、それぞれの教師が自分のテーマを定め取り組んだ実践報告を「実践交流会紹介カード」にまとめたり、板書を持ち寄ったりする等、授業力の向上については、自主的に行っています。

今回参観した授業においても、対話的な学びを多く取り入れ、教師はファシリテーターの役割を果たしていました。

今後は、教師の立ち位置についてはより俯瞰的に見ることで、学び合いの様子を形成的に評価し、より深い学びに繋がるよう指名を意図的に行ってみてはいかがでしょうか。



NO.516 2022年11月 大分市立鶴崎小学校

表現力

自分の考えを相手に理解してもらおうのは大人でも難しい。何度も経験することで、次第にできるようになる。



NO.513 2022年11月 大分市立鶴崎小学校

自ら学ぶ

やらされるのではなく、解決したいと思う課題だから、発言したくなる。友達も考えも聴きたくなる。



NO.514 2022年11月 大分市立鶴崎小学校

認め合う

共感的に聴いてくれる友達がいる。だから、安心して自分の思いを表現でき、共に成長する。



NO.515 2022年11月 大分市立鶴崎小学校

支え合う

書くことが得意な人、説明するのが上手な人。それぞれの個性を発揮することで、よりよいものができる。